



山形大学
Yamagata University

IR (Institutional Research) 担当者向け実践プログラム について

藤原 宏司・浅野 茂・鈴木 達哉・山本 幸一
(明治大学)

2020.8.5

第2期用オンライン説明会

今日の内容

- IR (Institutional Research) 担当者向け実践プログラムについて (担当: 藤原)

- FAQ

- オンライン授業のイメージ

- Q&A (担当: 講師全員)

- 画面右上の「Q&A」アイコンをクリックすると質問の入力画面が表示されます



- ✓ 以下、IR担当者向け実践プログラムを「IRプログラム」もしくは「本プログラム」と呼びます

IR担当者向け実践プログラムについて

藤原 宏司



本プログラム開発の動機

- 日本の大学におけるIR担当者
 - 職員：**人事異動**によって入れ替わる
 - 教員：**任期**が付いている場合が多い

構造的な問題

- 後任が何から初めてよいか分からない
 - IRって何？
 - 何をするのに？
 - 何を勉強すればいい？等

→ IR業務が途切れる可能性

- IR担当者に**最低限必要な知識・スキル**を「体系的に養成」する**履修証明プログラム**の開発へ

Institutional Researchとは何か

■ IRプログラム開発メンバーによる定義

- IRとは客観的なデータ分析に基づいた大学における諸活動の効果検証及び、情報提供等を通じた大学の意思決定又は業務の継続的改善を支援する機能・活動のこと

■ IR担当者に必要な知識・スキル

1. 大学における教育研究や経営等の諸活動について理解できる
2. 大学における諸活動の効果検証を実践できる
3. 学内外から収集したデータを分析に適した形に処理できる
4. データを分析・可視化できる
5. 分析結果を分かりやすく説明できる

Data Management & Analysis (DMA)



IR担当者だけではなく、大学職員にとっても重要な技術

本プログラムの到達目標

Contextual Knowledge(CK)

大学における
教育研究や経営等の
諸活動について
理解できる。

Assessment(AS)

大学における
諸活動の効果検証を
実践できる。

IR担当者に必要な
知識・スキル

Data Storytelling (DS)

分析結果を
分かりやすく
説明できる。

Data Management (DM)

学内外から
収集したデータを
分析に適した形に
処理できる。

Data Analysis (DA)

データを分析・可視化できる。

本プログラムでは、左図の

**「IR担当者に必要な
知識・スキル」**

に関する**基礎的**な要素
の習得を目標としています。



**IRの初心者・初級者向けの
プログラム**

カリキュラム・マップ（対面式を想定して作成）

カリキュラム・マップとは、本プログラムにおける到達目標が、各科目を通じてどのように涵養（導入→応用・強化→熟達）されていくのかを視覚化したものです。

I = Introduced 導入科目 M = Mastered 熟達科目
R = Reinforced 応用・強化科目 A = Assessed 達成度合いを評価する科目

科目区分	※ 科目名	到達目標				
		CK	AS	DM	DA	DS
IR入門	IR入門	I				
IR応用	IRとIE(1)		I			
	IRとIE(2)		R			
データマネジメント & 分析	データマネジメント入門(1)			I		
	データマネジメント入門(2)			I		
	MS Power QueryによるDM実践			R		
	データマネジメント実践			R		
	データマネジメント演習			R		
	データマネジメント応用			R		
	IRデータ分析入門				I	
	MS Power BIによるデータの可視化				R	
	IRデータ分析応用				R	
	レポートニング入門(1)					I
	レポートニング入門(2)					I
	レポートニング実践(1)					R
	レポートニング実践(2)					R
レポートニング応用					R	
IR実践	IR実践セミナー	R				
	IE実践セミナー		R			
	IRプロジェクト(1)	M,A	M,A	M,A	M,A	M
	IRプロジェクト(2)	A	A	A	A	A

IRプログラム: 4つのポイント

01

日本初のIR履修証明プログラム

大学等の高等教育機関に勤務している方を対象に開講する、IRに特化した日本初の履修証明プログラムです。修了者には、学校教育法に基づき学長名による「履修証明書」を交付します。

02

東京と山形の2会場で開講

第1サイクル(年度前期)には東京都内、第2サイクル(年度後期)には山形大学の2会場で開講します。内容は同一ですので、受講しやすい場所や期間をお選びいただけます。

03

前期と後期の年間2サイクル開講

第1サイクル(年度前期)と第2サイクル(年度後期)の年間2サイクル開講により、業務の都合等で欠席された受講回がある場合でも、翌期に欠席回を受講することができます。

04

現場経験豊富な講師陣による指導

国内外の様々な高等教育関係機関で経験を積み重ねた講師陣となっています。より現場に即した指導により、専門性を高めることができます。ゲスト講師による事例紹介も予定しています。

IRプログラム: 2会場2サイクル開講

業務の都合等で講義を欠席した場合、第1サイクル(年度前期)の受講生は同年度の第2サイクル(年度後期)に、第2サイクル(年度後期)の受講生は翌年度の第1サイクル(年度前期)に対応する欠席回を受講できます。

2会場
2サイクル
開講

■ 総時間数：60時間

※加えて、授業外課題等があります。

※土・日曜2日間で計10時間の講習を6回実施します。

土曜日 《4.5時間》	日曜日 《5.5時間》
—	日1 9:00-10:30
—	日2 10:40-12:10
—	～昼食休憩～
土1 13:00-14:30	日3 13:00-14:30
土2 14:40-16:10	日4 14:40-15:40
土3 16:20-17:50	

会場
2

YAMAGATA

● 第2サイクル(年度後期)

期間 / 11月～2月
(4ヶ月・約3週おきに1回)

場所 / 山形大学 小白川キャンパス

会場
1

TOKYO

● 第1サイクル(年度前期)

期間 / 5月～10月(6ヶ月・毎月1回)

場所 / 山形大学 東京サテライト(CIC)

※JR田町駅 徒歩1分

授業スケジュール（第2期：対面式を想定）

授業回	一日目（土曜日）	二日目（日曜日）
第1回	2020年11月7日	2020年11月8日
第2回	2020年11月28日	2020年11月29日
第3回	2020年12月12日	2020年12月13日
第4回	2021年1月9日	2021年1月10日
第5回	2021年2月6日	2021年2月7日
第6回	2021年2月27日	2021年2月28日

注意：

オンラインの場合は、各授業回の土曜日にオンラインミーティング（課題発表会）を実施します（2～3時間程度）

時間割

土曜日				日曜日			
				日1	9:00	-	10:30
				日2	10:40	-	12:10
				昼食休憩			
土1	13:00	-	14:30	日3	13:00	-	14:30
土2	14:40	-	16:10	日4	14:40	-	15:40
土3	16:20	-	17:50				
(4.5時間)				(5.5時間)			

本プログラムの特徴（1）

■ 現場のニーズに合わせたカリキュラム構成

- 大学評価・IE（Institutional Effectiveness）
- データマネジメント&分析（DMA）
【収集 → DM → 分析 → 情報提供】

■ なぜDMAが重要か

- 日本の大学では、**データの一元化が進んでいない**
→ 部署ごとに（異なる形式で）データを管理

→ 分析に適した形でのデータ管理は稀
（基本、集計表形式で管理）

本プログラムの特徴（2）

■ なぜDMAが重要か（続き）

- 日本のIR担当者には、以下のスキルがデータ分析をする前段として必要

1. 複数部署のデータを連携・統合
2. データを分析に適した形に処理
(変形、加工、エラーチェック等を含む)
3. 将来の経年分析等に備え、データ管理の
仕組みを設計・構築

DM

- 本プログラムでは、「R」を使ったDMおよび「Microsoft Power BI」によるデータの可視化を学びます

Rを学習する利点

■ Rとは？

- **無料**で使える**データマネジメント、データ分析ツール**
- 「コードを書く」という作業が必要ですが、リターン（メリット）も大きいです

■ Rによるメリット

1. **単純な手作業を自動化できる**
 - **コピー作業**から抜け出せます
2. **エラーが起こりにくい、エラーを特定しやすい**
 - **手作業によるエラーはランダム**に起きますが、プログラムによるエラーは規則的 → 特定しやすい
 - 作業手順が簡単に見直せます → エラーチェックが容易

Rを学習する利点

■ Rによるメリット（続き）

3. 作業の再現が簡単

- 全く**同じ作業を、同僚が再現**できます
→ ダブルチェックの効率化、スキルの共有

4. データがアップデートされても、即対応できます

例：レポート提出後、データが更新されました。
どうしますか？

（相手を責めて何もしない、というのは👹）

- **手作業**でレポートを作った場合 → ほぼ一からやり直し
- コードを書いていた場合 → コードを走らせるだけ

→ ツールを使って楽をしましょう！

□ Microsoft Power BIを学習する利点については、藤原（2016）を参照してください

本プログラムの特徴（3）

■ Data Storytelling

- 効果的に情報提供を行う技術のこと
- データを使って、伝えたいことを伝えたい人に伝える
- 大学経営陣等の忙しいクライアントに対して、短時間で要領よく的を射た説明をする技術は、IR担当者にとって必須
- 本プログラムでは、プレゼン発表の機会を最低でも5回提供します

募集要項: 2020年度 第2サイクル用 (1)

募集対象	以下のいずれかを満たす方 ①現在、大学等の高等教育関係機関に勤務し、IR関連の業務経験が2年未満の方 ②現在、大学等の高等教育関係機関に勤務し、今後、IR関連の業務に就くことを希望されている方
応募資格	以下のいずれも満たす方 ①高等学校卒業業者等の大学入学資格を有している方 ②現在、大学等の高等教育機関で勤務している方
定員	7名程度 <u>※受講者が一定数に満たない場合は、講座を中止することがあります。</u>
履修期間 総時間数	①履修期間: 2020年11月～2021年2月 ②総時間数: 60時間(土・日曜2日間で計10時間の講習を6回実施)
教育課程 授業方法	(1)教育課程 IR担当者に必要な5つの要素における基礎的な知識・スキルの習得を目標としたカリキュラムを編成しています。 (2)授業方法 ①講義と実習により構成されています。実習には、表計算ソフトやBIツールを用いたデータマネジメント、データの分析・可視化、分析結果の報告(レポート作成、プレゼンテーション)等があります。この他、 <u>授業時間外に課題を課します。</u> ②レポートの提出、講師と受講生間のコミュニケーションを目的として、 <u>共通のアプリケーションを用います。</u> <u>※各授業回には、Windows環境を有するノートパソコンをご持参ください。 ※※新型コロナウイルスの状況により、オンラインで講習を行う場合があります。</u>
修了要件	①履修期間内に、すべての講習(合計60時間)を履修し、すべての課題に合格すること ※勤務都合等による未達成科目については、翌期(連続する2期以内)までに履修・合格した場合のみ科目修了を認め、全ての修了要件を達成後、履修証明書を交付します。 ②IRプロジェクト(1)および(2)について、一定以上の成績を修めること ③山形大学IR担当者向け実践プログラム運営委員会による認定を受けること

募集要項: 2020年度 第2サイクル用 (2)

受講料 その他の費用

受講料: 100,000円
なお、支払われた受講料は、講座の中止以外の理由では返還しませんのでご了承ください。

出願書類 出願方法

(1) 出願書類: 履修申込書 (WEBからの申し込み)
(2) 出願方法: 出願書類をWEBサイトから作成し、提出してください。
申し込みWEBサイトについては、2020年8月中旬までに、山形大学次世代形成・評価開発機構IR部門(OIRE)のホームページ内で告知します。【山形大学次世代形成・評価開発機構IR部門(OIRE) <https://ir.yamagata-u.ac.jp/>】

選考方法 及び履修許可

- ① 本プログラムの到達目標に照らして、書類に基づき選考を行います。
- ② 選考の結果については、電子メールにてお知らせします。
- ③ 合格者の方には、納付方法をお知らせします。また、以下の確認書類から「パスワード保護を施したPDFファイル」を作成して、本プログラムが指定するWEBサイトよりアップロードしてください。

【確認書類】

- a. 最終学歴を証する各種証明書 (卒業証明書等)
- b. 高等教育機関に在職していることを証する各種証明書 (在職証明書等)
- c. 戸籍抄本 (旧姓の方のみ)

- ④ 指定された期間に必要な受講手続きを行った合格者に対して、履修を許可します。

出願スケジュール

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| (1) 出願期間 | 2020年 9月7日(月)正午～9月30日(水) |
| (2) 選考結果通知 | 2020年10月5日(月) |
| (3) 受講手続期間・受講料納入期間 | 2020年10月6日(火)～10月30日(金) |

単位について

本プログラム修了による単位授与はありません。

実施体制

本プログラムは、山形大学IR担当者向け実践プログラム運営委員会によって運営されます。

FAQ



FAQ: 募集対象・応募資格について

- IR関連部署に「2年以上」所属していますが、募集対象となりますか？

IR部署に所属していても、IR以外の業務（例：他業務との兼務）を担当しているケースもあるため、**IRに従事した「実質的な時間」**で判断してください。**目安の上限は約4,000時間（2年相当）**です。

FAQ: 教育課程・授業方法について（1）

■ 共通のアプリケーションとは何ですか？

授業では、**Microsoft Office 365**を使用します。
Microsoft Office 365がインストールできる
ノートPC（Windows環境を有する）を
ご用意ください。

■ Windows環境を有するノートパソコンが必要な理由を教えてください。

授業内で、**Microsoft Power BI Desktop**
（Windows OSでのみ動作）を利用するからです。

FAQ: 教育課程・授業方法について (2)

- 授業方法（対面式もしくはオンライン）は、どのように決定されるのですか？

基本的には、**対面式での実施を想定**しています。
ただし、「山形大学における新型コロナウイルスに係る総合対策本部（以下、総合対策本部）」が**対面式での授業実施を制限した場合は、オンライン授業に変更**します。

FAQ: 教育課程・授業方法について (3)

- 同一サイクル（同一期）の途中で、授業方法が変更される（例：対面式 → オンライン）ことはありますか？

総合対策本部の指示により、授業方法が変更されることがあります。

FAQ: 教育課程・授業方法について（4）

- 対面式ではなく、オンライン「のみ」で受講したいのですが、可能でしょうか？

本プログラムは、**対面式で実施することを前提**としておりますので、オンライン「のみ」での受講は不可となります。

ただし、総合対策本部の指示により、授業方法をオンラインに変更することがあります。この場合は、オンラインで受講いただくこととなります。

FAQ: 修了要件について (1)

- **【全て対面式で実施したと仮定】**
全6回の授業のうち、第3回目を欠席したとします。
この場合は、翌期の第3回目「だけ」を受講すれば
良いですか？

最終回（第6回目）に予定されている
「IRプロジェクト（2）」は、**第1回目から第5回目ま
での授業内容を習得していることが前提**となっていま
す。

つまり、第3回目を欠席された場合、
「IRプロジェクト（2）」は**受講できません**。
よって、翌期の第3回目および第6回目の受講が必要と
なります。

FAQ: 修了要件について (2)

- **【全て対面式で実施したと仮定】**
第4回目の二日目午後の「最後の科目」を所用で欠席してしまいました。この場合、修了要件は満たしたことになるますか？

本プログラムは**全科目を必須**とする「60時間」で構成しています。よって、一科目でも欠席があった場合は、修了要件を満たしたことにはなりません。修了には、**翌期の該当回および最終回の受講が必要**となります。

FAQ: 出願スケジュールについて

- 選考結果の通知は、10/5（月）の何時ごろに行う予定ですか？

選考結果の通知は、**10/5（月）の午後5時までに電子メール**にて行います。場合によっては、早めることもあります。

オンライン授業のイメージ

本プログラムは、対面式を前提としていますが、
総合対策本部の指示により、授業方法をオンラインに
変更する可能性があります



オンライン授業のイメージ

- 総合対策本部の指示により、授業形態がオンラインになった場合は、**Microsoft Teams**および**Microsoft Stream**を用いてオンライン授業を実施します。
- 第1期の場合（オンラインで実施中）

Teams: コミュニケーション、講義動画・課題管理等

Stream: 講義動画の視聴

Teamsのイメージ: 講義動画 (第1期)

IR 一般 投稿 ファイル クラス ノートブック 課題 成績 講義動画 〵 ガイダンス・Teamsの使い方 十

講義動画
50本のビデオ | 0人のフォロー

Microsoft Stream

IR211_課題02 (提出期限修正)

01:21

0 0

IR211_02_IEとデータ活用_第2...

13:21

1 0

DMA103_03_Microsoft Forms...

36:44

7 0

DMA104_課題02_プレゼン発...

10:07

6 0

DMA103_10_Power BIレポート...

25:56

4 0

DMA103_10_Power BIレポート...

31:22

5 0

DMA103_課題03_エクセルに...

06:20

3 0

DMA103_10_Power BIレポート...

27:37

4 0

DMA103_10_Power BIレポート...

39:33

6 0

IR211_課題01

01:40

6 0

IR211_01_IEとデータ活用_第1...

14:58

7 0

DMA103_10_Power BIレポート...

20:39

7 0

DMA103_10_Power BIレポート...

29:39

6 0

DMA103_10_Power BIレポート...

01:05:12

13 0

DMA103_02_アンケート作成...

32:05

15 0

DMA102_04_データセットの...

44:49

20 0

DMA102_01_RStudioの使い方...

12:42

18 0

DMA102_03_データセットの...

19:08

14 0

Teamsのイメージ: 講義ファイルの共有



The screenshot shows the Microsoft Teams interface for a channel named 'クラスの資料' (Class Materials). The top navigation bar includes tabs for '一般' (General), '投稿' (Posts), 'ファイル' (Files), 'クラス ノートブック' (Class Notebook), '課題' (Assignments), '成績' (Grades), '講義動画' (Lecture Videos), and 'ガイダンス・Teamsの使い方' (Guidance/Teams Usage). The 'ファイル' tab is active, displaying a list of shared files. The list includes folders for various lecture presentations and materials, all shared by '藤原 宏司' (Hiroshi Fujiwara).

名前 ↑ ↓	更新日時 ↓	更新者 ↓
20200613_プレゼン発表会	6月11日	藤原 宏司
20200711_プレゼン発表会2	6月25日	藤原 宏司
20200822_プレゼン発表会3	4 日前	藤原 宏司
DMA101_DMA入門	6月21日	藤原 宏司
DMA102_データマネジメント入門	6月21日	藤原 宏司
DMA103_データ分析・可視化入門	6月14日	藤原 宏司
IR101_IR入門	5月17日	藤原 宏司
IR151_IR応用「IRの発展過程」	5月17日	藤原 宏司
IR171_IRセミナー_明治大学	5月17日	藤原 宏司
IR175_IRセミナー「他大学におけるIR活動」	5月31日	藤原 宏司
IR211_IEとデータ活用	7月26日	藤原 宏司
R・Rstudio インストールファイル	5月6日	藤原 宏司

対面式授業においても、Teamsを使った講義ファイルの共有を行います。

Teamsのイメージ: 課題管理

一般 投稿 ファイル クラス ノートブック 課題 成績 講義動画 ガイダンス・Teamsの使い方 +

会議

今後の予定

> 下書き

▼ 割り当て済み (6)

DMA102_課題01_Tidyではないデータ 11/13 提出済み
期限 2020年8月2日 23:59 9件のレビュー済み

IR211_JEとデータ活用_課題01 2/13 提出済み
期限 2020年8月11日 23:59

DMA104_課題02_発表資料の提出 (プレゼン発表会#3用) [プレゼン発表会](#) 0/13 提出済み
期限 2020年8月22日 13:00

DMA103_課題03_エクセルにおける箱ひげ図 1/13 提出済み
期限 2020年8月24日 23:59

DMA103_課題04_作成したPower BIレポートのURL 0/13 提出済み
期限 2020年8月30日 23:59

IR211_課題02 0/13 提出済み
期限 2020年8月30日 23:59

> 採点済み (20+)

対面式授業においても、Teamsを使った課題管理（提示、提出、フィードバック等）を行います。

Teamsのイメージ: コミュニケーション

IR 一般 投稿 ファイル クラス ノートブック 課題 成績 講義動画 ガイダンス・Teamsの使い方 +

◎ チーム 会議

返信

藤原 宏司 昨日 9:41

IR実践プログラム：Week 13

Week 13 has started!!

1. **7/レゼン発表会 (8/22)** について
 - 発表課題が出ています。詳しくは、7/31のアナウンスを参照してください。
2. 前回のアナウンス以降に出された動画、課題について
 - 講義動画
 - DMA103_10_Power BIレポート作成04_エクセルによる四分位の計算方法
 - DMA103_10_Power BIレポート作成05_箱ひげ図
 - DMA103_10_Power BIレポート作成06_箱ひげ図の描画
 - DMA103_10_Power BIレポート作成07_レポートの公開
 - IR211_02_IEとデータ活用_第2回計画策定と評価
 - 提出課題
 - DMA103_課題03_エクセルにおける箱ひげ図 (8/24)
 - DMA103_課題04_作成したPower BIレポートのURL (8/30)
 - IR211_課題02 (8/30)

IR担当者向け実践プログラム

簡易表示

[講義動画リスト].pdf

返信

新しい会話を開始します。@を入力して、誰かにメンションしてください。

対面式授業においても、Teamsを使ったコミュニケーションを行います。

授業の進め方：第1期の場合（オンライン）

- 期間：2020年5月～10月（受講者数：11人）
- 授業の進め方
 - 講義動画 → 課題提示 → 課題提出 → **フィードバック**
 - **毎週2時間程度**の講義動画 + 授業内課題を配信
 - **プレゼンテーション発表会**（月に1回 2～3時間）
 - オンライン面談*（7月開始 + 月に1回程度 30～60分/人）
- 現時点での状況（as of 2020.8.3）
 - 総講義時間**（講義 + 授業内課題 + 発表会）：35時間+
 - 講義動画数（講義 + 課題説明）：50本
 - ガイダンス系動画（Teamsの使い方等）：13本
 - 課題数：25+
 - ゲスト講演（他大学におけるIR）：2大学

* 希望者のみ + 講義時間には含みません

** 初回ガイダンス（100分）、Teamsの使い方（60分）、**授業外課題**の時間は含みません

参考資料

藤原宏司（2015）「米国におけるIR履修証明プログラムについての一考察」, 『大学評価とIR』, 第1号, 19-30.

<http://iir.ibaraki.ac.jp/jcache/dlfile.php?download=13>

藤原宏司（2016）「BIツールを用いた学内データの動的可視化について」, 『大学評価とIR』, 第6号, 3-11.

<http://iir.ibaraki.ac.jp/jcache/dlfile.php?download=61>

藤原宏司, 浅野茂, 鈴木達哉, 山本幸一, 白石哲也（2018）「日本型IR履修証明プログラムに関する検討」, 2018年度IR実務担当者連絡会@三重大学,

<https://ir.yamagata-u.ac.jp/conference-presentations/>

藤原宏司, 浅野茂, 白石哲也, 鈴木達哉, 山本幸一（2019）「IR履修証明プログラムの開発について」, 『大学評価とIR』, 第10号, 3-15.

<http://iir.ibaraki.ac.jp/jcache/dlfile.php?download=101>

THANK YOU!

ANY QUESTIONS, COMMENTS OR SUGGESTIONS?

藤原 宏司 | Koji Fujiwara, Ph.D.

kfujiwara@cc.yamagata-u.ac.jp
ir@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



Q&A

藤原 宏司・浅野 茂・鈴木 達哉・山本 幸一

